

## 風に対するクローラクレーンの休車姿勢と注意事項について

クローラクレーンでは、強風時にクレーンブームやタワーブームが風にあおられ、機械が転倒に至る危険があります。

### ■ 強風時の作業中止

(クレーン等安全規則 第七十四条の三)

事業者は、強風のため、移動式クレーンに係る作業の実施について危険が予想されるときは、当該作業を中止しなければならない。

### ■ 強風時における転倒の防止

(クレーン等安全規則 第七十四条の四)

事業者は、前条の規定により作業を中止した場合であって移動式クレーンが転倒するおそれのあるときは、当該移動式クレーンのジブの位置を固定させる等により移動式クレーンの転倒による労働者の危険を防止するための措置を講じなければならない。



### 警告

- ・ 強風下の作業は、転倒事故につながる危険があります。瞬間風速が 10m/秒を超える場合は作業を中止し、風速に応じて以降に示す休業処置を実施してください。
- ・ 機械の操作方法は当該機種取扱説明書によって手順を確認して行ってください。

### 1. 風の影響

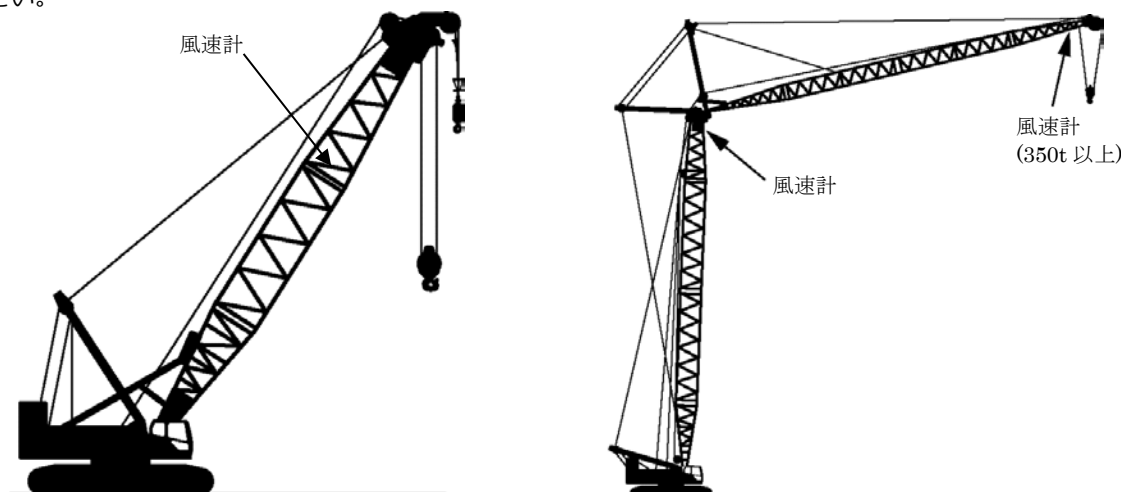
- ・ タワーブームまたはブームやジブが長ければ長いほど、つり荷の位置が高ければ高いほど、つり荷の風を受ける面積が大きければ大きいほど、風の影響は大きくなり、機械の転倒・破損につながる危険があります。
- ・ タワーブーム・ジブまたはブーム角度が最大で、荷をついていない状態のときに、前方から強い風を受けると、タワーブームまたはブームやジブがあおられ、機械が後方に転倒する危険があります。
- ・ 風の強弱の影響でタワーブームまたはブームやジブが振動し、予期せぬ状況が起こる場合があります。余裕を持った対応をしてください。
- ・ 風の強さは地形、地上高さによって大きく異なります。十分注意して作業を行ってください。

### 2. 風速の推定

本ページおよび次ページ以降で扱う風速は、ブーム、タワーブームまたはタワージブ先端高さにおける瞬間風速を言います。機械に風速計が取付いている場合は、風速計で瞬間風速を確認してください。

機械に風速計が取付いていない場合は、次ページに記載されている「風速換算表」の平均風速に1.5~1.7倍を掛けて瞬間風速を推定してください。

- ・ 工事事務所などに設置された平均風速計によって測定した値は、「風速換算表」によってブーム、タワーブームまたはタワージブ先端での平均風速に換算してください。この値に1.5~1.7の係数を掛けて瞬間風速を求めてください。
- ・ 気象通報による地上10mにおける10分間の平均風速をもとにする場合は、「風速換算表」の『気象通報の平均風速』によってブーム、タワーブームまたはタワージブ先端での平均風速に換算してください。この値に1.5~1.7の係数を掛けて瞬間風速を求めてください。



## 風速換算表(概算)

1部分の誤)5.8を訂正しました。

風速 高さ (m)	気象通報の平均風速5m/秒				気象通報の平均風速8m/秒				気象通報の平均風速10m/秒			
	海上	平地	市街地	都心地	海上	平地	市街地	都心地	海上	平地	市街地	都心地
10	5.0	5.0	5.0	5.0	8.0	8.0	8.0	8.0	10.0	10.0	10.0	10.0
15	5.3	5.4	5.6	5.8	8.4	8.6	8.9	9.2	10.5	10.7	11.1	11.5
20	5.5	5.6	6.0	6.3	8.7	9.0	9.5	10.1	10.9	11.2	11.9	12.6
25	5.6	5.9	6.3	6.8	9.0	9.4	10.1	10.9	11.2	11.7	12.6	13.6
30	5.8	6.0	6.6	7.2	9.2	9.6	10.6	11.5	11.5	12.0	13.2	14.4
40	6.0	6.3	7.1	8.0	9.5	10.1	11.3	12.7	11.9	12.6	14.1	15.9
50	6.1	6.6	7.5	8.6	9.8	10.5	12.0	13.7	12.2	13.1	15.0	17.1
75	6.5	7.0	8.3	9.8	10.3	11.2	13.2	15.7	12.9	14.0	16.5	19.6
100	6.7	7.4	8.9	11.1	10.6	11.8	14.2	17.8	13.3	14.7	17.8	22.2
125	6.9	7.6	9.4	11.6	11.0	12.2	15.0	18.6	13.7	15.2	18.8	23.2
150	7.0	7.9	9.9	12.4	11.2	12.6	15.8	19.8	14.0	15.7	19.7	24.7
200	7.3	8.3	10.6	13.6	11.6	13.2	16.9	21.7	14.5	16.5	21.1	27.1

日本クレーン協会発行『クレーン』第32巻5号1994による。

風速計がない場所では、「気象庁風力階級表」を風速の目安としてください。

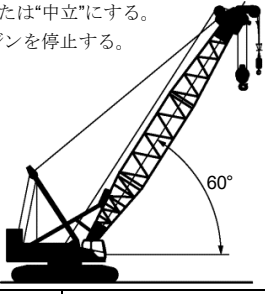
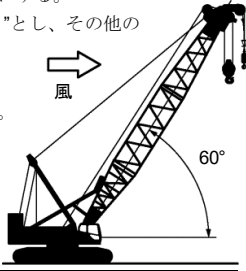
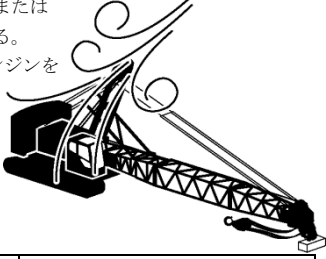
- 1) 気象庁風力階級表の値は、地上10mにおける最大平均風速を示します。「風速換算表」によってタワー先端での平均風速に換算してください。この値に1.5~1.7の係数を掛けて瞬間風速を求めてください。

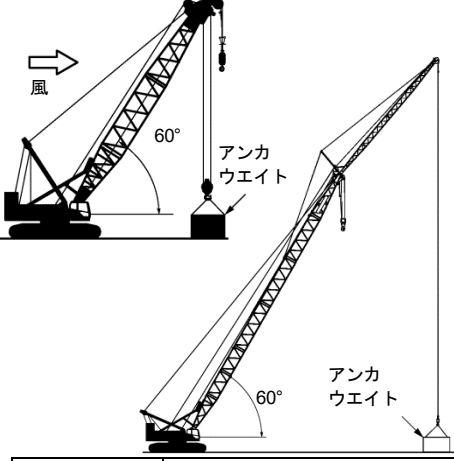
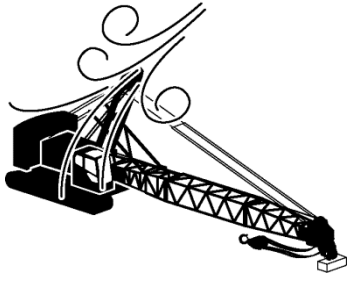
## 気象庁風力階級表

2部分の誤)0.1(1)を訂正しました。  
3部分の誤)32.7-36.9を訂正しました。

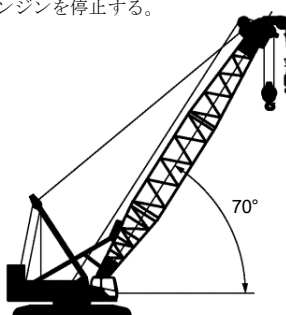
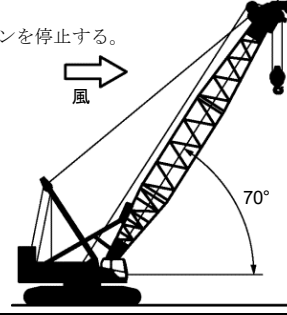
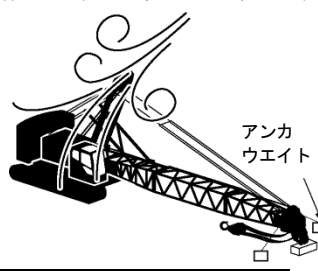
風力	地上10m の風速 (m/秒)	陸上の状態	海上の状態	外洋の波高 ( )内は最高 (m)
0	0~0.2	静穏、煙はまっすぐに上がる。	鏡のような海面	0 (0)
1	0.3~1.5	風向きは煙がなびくのでわかるが、 風見には感じない。	うろこのようなさざ波ができるが波がしらに泡はない。	0.1 (0.1)
2	1.6~3.3	顔に風を感じず。木の葉が動く。風 見も動き出す。	小波の小さいもので、まだ短いのはっきりしてくる。波がしらはな めらかに見え、砕けていない。	0.2 (0.3)
3	3.4~5.4	木の葉や細い小枝がたえず動く。 軽い旗が開く。	小波の大きいもの、波がしらが砕けはじめる。 あわがガラスのように見える。 ところどころ白波が現れることがある。	0.6 (1) 2
4	5.5~7.9	砂ぼこりが立ち、紙片が舞い上がる。 小枝が動く。	波の小さいもので長くなる。白波がかなり多くなる。	1 (1.5)
5	8.0~10.7	葉のある幹木が揺れ始める。 池や沼の水面に波がしらが立つ。	波の中ぐらいのもので、いっそうはっきりして長くなる。白波がた くさん現れる。(しぶきを生ずることもある。)	2 (2.5)
6	10.8~13.8	大枝が動く、電線が鳴る。 カサはさしにくい。	波の大きいものができはじめる。 いたるところで白くあわだった波がしらの範囲がいっそう広くな る。(しぶきを生ずることが多い。)	3 (4)
7	13.9~17.1	樹木全体が揺れる。 風に向かっては歩きにくい。	波は増々大きくなり、波がしらが砕けてできた白いあわは、筋を引 いて風下に吹き流されはじめる。	4 (5.5)
8	17.2~20.7	小枝が折れる。 風に向かっては歩けない。	大波のやや小さいもので、長さが長くなる。 波がしらの端は砕けて水煙となりはじめる。 あわは明瞭な筋を引いて風下に吹き流される。	5.5 (7.5)
9	20.8~24.4	人畜にわずかの損害が起こる。 (煙突が倒れ、かわらがはずれる。)	大波のあわは濃い筋を引いて風下に吹き流される。波がしらはのめ り、くずれ落ち、逆巻はじめる。 しぶきのために視程が損なわれることがある。	7 (10)
10	24.5~28.4	陸地の内部ではめずらしい。 樹木が根こそぎになる。 人家に大損害が起こる。	波がしらが長くのしかかるような非常に高い大波、大きなかたまり となったあわは濃い白色の筋を引いて、風下に吹き流される。海面 は全体として白く見える。波のくずれ方は激しく、衝撃的になる。 視程は損なわれる。	9 (12.5)
11	28.5~32.6	めったに起こらない。 広い範囲の破壊を伴う。	山のように高い大波(中小船舶は一時、波の蔭に見えなくなること もある。)海面は風下に吹き流された長い白色のあわのかたまりで 完全におおわれている。いたるところで波がしらの端が吹き飛ばさ れて水煙となる。視程はそこなわれる。	11.5 (16)
12	32.7~ 3		大気はあわとしぶきで充満する。海面は吹き飛ばしぶきのために完 全に白くなる。視程は著しくそこなわれる。	14 (—)

3. 35t～800t 級クレーン仕様の休業処置(6000SLX を除く)

日常休業時 (風速10m/秒以下)	強風休業時 (風速が10m/秒を超え16m/秒以下)	強風休業時 (風速が16m/秒を超え30m/秒以下)																				
<p>作業終了時、次の処置をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ブーム角度を 60°にする。</li> <li>2) フックを過巻防止装置が働く手前まで巻上げる。</li> <li>3) 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。</li> <li>4) すべての操作レバーを中立位置にする。</li> <li>5) ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。</li> <li>6) ドラムロックは“掛り”とし、その他のスイッチは“切”または“中立”にする。</li> <li>7) エンジンを停止する。</li> </ol>  <table border="1" data-bbox="95 728 542 817"> <tr><td>ブーム</td><td>60°</td></tr> <tr><td>フック</td><td>過巻停止手前まで巻上げ</td></tr> <tr><td>旋回ロック</td><td>入</td></tr> </table>	ブーム	60°	フック	過巻停止手前まで巻上げ	旋回ロック	入	<p>作業を中止して、次の処置をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. カウンタウエイトを風上に向ける。</li> <li>2. ブーム角度を60°にする。</li> <li>3. フックを過巻防止装置が働く手前まで巻上げる。</li> <li>4. 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。</li> <li>5. すべての操作レバーを中立位置にする。</li> <li>6. ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。</li> <li>7. ドラムロックは“掛り”とし、その他のスイッチは“切”または“中立”にする。</li> <li>8. エンジンを停止する。</li> </ol>  <table border="1" data-bbox="566 694 1013 817"> <tr><td>ブーム</td><td>60°</td></tr> <tr><td>フック</td><td>過巻停止手前まで巻上げ</td></tr> <tr><td>旋回ロック</td><td>入</td></tr> <tr><td>機械の方向</td><td>カウンタウエイトが風上</td></tr> </table>	ブーム	60°	フック	過巻停止手前まで巻上げ	旋回ロック	入	機械の方向	カウンタウエイトが風上	<p>ブームを地上に降下できる場合 作業を中止して、次の処置をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) フックを地上に降ろす。</li> <li>2) ブームを地上に降下させる。</li> <li>3) 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。</li> <li>4) すべての操作レバーを中立位置にする。</li> <li>5) ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。</li> <li>6) ドラムロックは“掛り”とし、その他のスイッチは“切”または“中立”にする。</li> <li>7) エンジンを停止する。</li> </ol>  <table border="1" data-bbox="1045 728 1492 817"> <tr><td>ブーム</td><td>地上</td></tr> <tr><td>フック</td><td>地上</td></tr> <tr><td>旋回ロック</td><td>入</td></tr> </table>	ブーム	地上	フック	地上	旋回ロック	入
ブーム	60°																					
フック	過巻停止手前まで巻上げ																					
旋回ロック	入																					
ブーム	60°																					
フック	過巻停止手前まで巻上げ																					
旋回ロック	入																					
機械の方向	カウンタウエイトが風上																					
ブーム	地上																					
フック	地上																					
旋回ロック	入																					

強風休業時の応急対策 (風速が16m/秒を超え30m/秒以下)	暴風休業時 (風速が30m/秒を超える場合)	アンカウエイト表																																																
<p>ブームを地上に降下できない場合 作業を中止して、次の処置をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) カウンタウエイトを風上に向ける。</li> <li>2) ブーム角度を60°にする。</li> <li>3) アンカウエイトを玉掛けし、巻上げロープを張る。(※1)</li> <li>4) アンカウエイトは「アンカウエイト表」を参考にして、事前に準備しておいてください。</li> <li>5) 巻上げロープを張るときに、最小アンカウエイトの10%程度の荷重をかけて、巻上げロープの揺れによって、玉掛け用ワイヤロープが外れないように処置をしてください。(地切り禁止)</li> <li>6) 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。</li> <li>7) すべての操作レバーを中立位置にする。</li> <li>8) ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。</li> <li>9) ドラムロックは“掛り”とし、その他のスイッチは“切”または“中立”にする。</li> <li>10) エンジンを停止する。</li> </ol>  <table border="1" data-bbox="95 1915 542 2027"> <tr><td>ブーム</td><td>60°</td></tr> <tr><td>フック</td><td>アンカウエイトに接続</td></tr> <tr><td>旋回ロック</td><td>入</td></tr> <tr><td>機械の方向</td><td>カウンタウエイトが風上</td></tr> </table> <p>(※1)玉掛け用ワイヤロープは、アンカウエイトの質量に見合ったものを使用してください。</p>	ブーム	60°	フック	アンカウエイトに接続	旋回ロック	入	機械の方向	カウンタウエイトが風上	<p>台風などで風速が30m/秒を超えると予想される場合は、事前に次の処置をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) フックを地上に降ろす。</li> <li>2) ブームを地上に降下させる。</li> <li>3) 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。</li> <li>4) すべての操作レバーを中立位置にする。</li> <li>5) ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。</li> <li>6) ドラムロックは“掛り”とし、その他のスイッチは“切”または“中立”にする。</li> <li>7) エンジンを停止する。</li> </ol>  <table border="1" data-bbox="566 1534 1013 1635"> <tr><td>ブーム</td><td>地上</td></tr> <tr><td>フック</td><td>地上</td></tr> <tr><td>旋回ロック</td><td>入</td></tr> </table>	ブーム	地上	フック	地上	旋回ロック	入	<table border="1" data-bbox="1045 896 1492 1422"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>アンカウエイト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>35t 級</td><td>1t 以上</td></tr> <tr><td>40t 級</td><td>1t 以上</td></tr> <tr><td>50t 級</td><td>1t 以上</td></tr> <tr><td>55t 級</td><td>1t 以上</td></tr> <tr><td>65t 級</td><td>2t 以上</td></tr> <tr><td>80t 級</td><td>2t 以上</td></tr> <tr><td>90t 級</td><td>2t 以上</td></tr> <tr><td>100t 級</td><td>2t 以上</td></tr> <tr><td>120t 級</td><td>2t 以上</td></tr> <tr><td>150t 級</td><td>3t 以上</td></tr> <tr><td>200t 級</td><td>3t 以上</td></tr> <tr><td>250t 級</td><td>3t 以上</td></tr> <tr><td>350t 級</td><td>3t 以上</td></tr> <tr><td>500t 級</td><td>6t 以上</td></tr> <tr><td>650t 級</td><td>7t 以上</td></tr> <tr><td>800t 級</td><td>8t 以上</td></tr> </tbody> </table>	機種	アンカウエイト	35t 級	1t 以上	40t 級	1t 以上	50t 級	1t 以上	55t 級	1t 以上	65t 級	2t 以上	80t 級	2t 以上	90t 級	2t 以上	100t 級	2t 以上	120t 級	2t 以上	150t 級	3t 以上	200t 級	3t 以上	250t 級	3t 以上	350t 級	3t 以上	500t 級	6t 以上	650t 級	7t 以上	800t 級	8t 以上
ブーム	60°																																																	
フック	アンカウエイトに接続																																																	
旋回ロック	入																																																	
機械の方向	カウンタウエイトが風上																																																	
ブーム	地上																																																	
フック	地上																																																	
旋回ロック	入																																																	
機種	アンカウエイト																																																	
35t 級	1t 以上																																																	
40t 級	1t 以上																																																	
50t 級	1t 以上																																																	
55t 級	1t 以上																																																	
65t 級	2t 以上																																																	
80t 級	2t 以上																																																	
90t 級	2t 以上																																																	
100t 級	2t 以上																																																	
120t 級	2t 以上																																																	
150t 級	3t 以上																																																	
200t 級	3t 以上																																																	
250t 級	3t 以上																																																	
350t 級	3t 以上																																																	
500t 級	6t 以上																																																	
650t 級	7t 以上																																																	
800t 級	8t 以上																																																	

4. 6000SLX クレーン仕様の休業処置

日常休業時 (風速10m/秒以下)	強風休業時 (風速が10m/秒を超え16m/秒以下)	強風休業時 (風速が16m/秒を超え30m/秒以下)																
<p>作業終了時、次の処置をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブーム角度を70°にする。</li> <li>2. フックを過巻防止装置が働く手前まで巻上げる。</li> <li>3. 旋回ブレーキを掛ける。</li> <li>4. すべての操作レバーを中立位置にする。</li> <li>5. ゲートロックを「ロック」位置にする。</li> <li>6. 機械操作関係のスイッチは“切”または“中立”にする。</li> <li>7. エンジンを停止する。</li> </ol>  <table border="1" data-bbox="95 784 542 851"> <tr> <td>ブーム</td> <td>70°</td> </tr> <tr> <td>フック</td> <td>過巻停止手前まで巻上げ</td> </tr> </table>	ブーム	70°	フック	過巻停止手前まで巻上げ	<p>作業を中止して、次の処置をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. カウンタウエイトを風上に向ける。</li> <li>2. ブーム角度を70°にする。</li> <li>3. フックを過巻防止装置が働く手前まで巻上げる。</li> <li>4. 旋回ブレーキを掛ける。</li> <li>5. すべての操作レバーを中立位置にする。</li> <li>6. ゲートロックを「ロック」位置にする。</li> <li>7. 機械操作関係のスイッチは“切”または“中立”にする。</li> <li>8. エンジンを停止する。</li> </ol>  <table border="1" data-bbox="574 761 1021 851"> <tr> <td>ブーム</td> <td>70°</td> </tr> <tr> <td>フック</td> <td>過巻停止手前まで巻上げ</td> </tr> <tr> <td>機械の方向</td> <td>カウンタウエイトが風上</td> </tr> </table>	ブーム	70°	フック	過巻停止手前まで巻上げ	機械の方向	カウンタウエイトが風上	<p>ブームを地上に降下できる場合 作業を中止して、次の処置をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フックを地上に降ろす。</li> <li>2. ブームを地上に降下させる。</li> <li>3. アンカウエイトをブーム先端の左右に置き、ブームトップを固定する。(*1)</li> <li>4. 旋回ブレーキを掛ける。</li> <li>5. すべての操作レバーを中立位置にする。</li> <li>6. ゲートロックを「ロック」位置にする。</li> <li>7. 機械操作関係のスイッチは“切”または“中立”にする。</li> <li>8. エンジンを停止する。</li> </ol>  <table border="1" data-bbox="1053 761 1468 851"> <tr> <td>ブーム</td> <td>地上</td> </tr> <tr> <td>フック</td> <td>地上</td> </tr> <tr> <td>アンカウエイト</td> <td>各6t 以上</td> </tr> </table> <p>(*1)玉掛け用ワイヤロープは、アンカウエイトの質量に見合ったものを使用してください。</p>	ブーム	地上	フック	地上	アンカウエイト	各6t 以上
ブーム	70°																	
フック	過巻停止手前まで巻上げ																	
ブーム	70°																	
フック	過巻停止手前まで巻上げ																	
機械の方向	カウンタウエイトが風上																	
ブーム	地上																	
フック	地上																	
アンカウエイト	各6t 以上																	

強風休業時の応急対策

ブームを地上に降下できない場合  
作業を中止して、次の処置をしてください。

1. カウンタウエイトを風上に向ける。
2. ブーム角度を70°にする。
3. アンカウエイトを玉掛けし、巻上げロープを張る。(\*1)

- ・アンカウエイトは事前に準備しておいてください。
- ・巻上げロープを張るときに、最小アンカウエイトの10%程度の荷重をかけて、巻上げロープの揺れによって、玉掛け用ワイヤロープが外れないように処置をしてください。(地切り禁止)

4. 旋回ブレーキを掛ける。
5. すべての操作レバーを中立位置にする。
6. ゲートロックを「ロック」位置にする。
7. 機械操作関係のスイッチは“切”または“中立”にする。
8. エンジンを停止する。

ブームを地上に降下できず、アンカウエイトによる対策をとる場合、適用できる風速は仕様・ブーム長さ毎に異なりますので、下表を参考にしてください。

それ以上の風速が予想される場合は、「暴風休業時」の処置をしてください。

○：風速が16m/秒を超え30m/秒以下  
●：風速が16m/秒を超え25m/秒以下  
□：風速が16m/秒を超え20m/秒以下

**標準(ヘビーブーム)、SL-N(ヘビーブーム)仕様時**

ブーム長さ(m)	24	30	36	42	48	54	60	66	72	78	84	90	96
風速	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	□

**標準(ライトブーム)、SL-N(ライトブーム)仕様時**

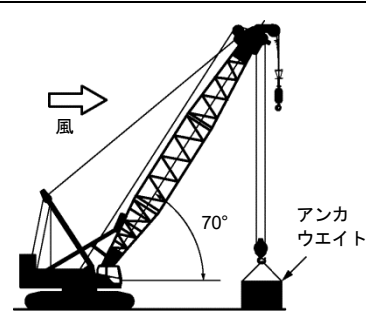
ブーム長さ(m)	42	48	54	60	66	72	78	84	90	96	102	108
風速	○	○	○	○	○	○	○	●	●	□	□	□

**SL-B(ヘビーブーム)、SL-T(ヘビーブーム)仕様時**

ブーム長さ(m)	36	42	48	54	60	66	72	78	84	90	96	108
風速	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

**SL-B(ライトブーム)、SL-T(ライトブーム)仕様時**

ブーム長さ(m)	78	84	90	96	102	108	114	120	126
風速	○	○	○	○	○	●	●	●	●



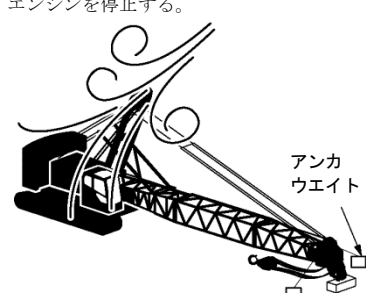
ブーム	70°
フック	アンカウエイトに接続
機械の方向	カウンタウエイトが風上
アンカウエイト	6t 以上

(\*1)玉掛け用ワイヤロープは、アンカウエイトの質量に見合ったものを使用してください。

暴風休業時  
(風速が30m/秒を超える場合)

台風などで風速が30m/秒を超えると予想される場合は、事前に次の処置をしてください。

1. フックを地上に降ろす。
2. ブームを地上に降下させる。
3. アンカウエイトをブーム先端の左右に置き、ブームトップを固定する。(\*1)
4. 旋回ブレーキを掛ける。
5. すべての操作レバーを中立位置にする。
6. ゲートロックを「ロック」位置にする。
7. 機械操作関係のスイッチは“切”または“中立”にする。
8. エンジンを停止する。



ブーム	地上
フック	地上
アンカウエイト	各6t 以上

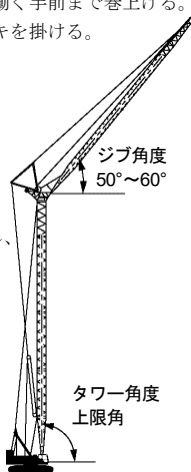
(\*1)玉掛け用ワイヤロープは、アンカウエイトの質量に見合ったものを使用してください。

5. 50t～200t 級タワー仕様の休業処置

**日常休業時**  
(風速 10 m/秒以下)

作業終了時、次の処置をしてください。

- タワー角度を上限角にし、ジブ角度を50°～60°にする。
- フックを過巻防止装置が働く手前まで巻上げる。
- 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。
- すべての操作レバーを中立位置にする。
- ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。
- ドラムロックは「掛り」とし、その他のスイッチは「切」または「中立」にする。
- エンジンを停止する。



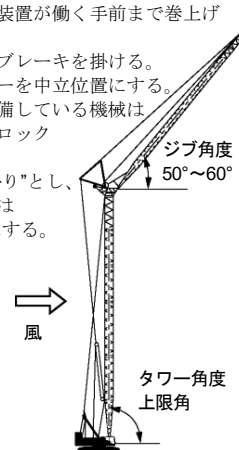
タワー	上限角 (*2)
ジブ	50°～60° (*2)
フック	過巻停止手前まで巻上げ
旋回ロック	入

(\*2)タワー角度およびジブ角度は、各機種の取扱説明書に記載の角度を参照してください。

**強風休業時**  
(風速が10 m/秒を超え16 m/秒以下)

作業を中止して、次の処置をしてください。

- カウンタウエイトを風上に向け、ブーム背面から風を受けるようにする。
- タワー角度を上限角にし、ジブ角度を50°～60°にする。
- フックを過巻防止装置が働く手前まで巻上げる。
- 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。
- すべての操作レバーを中立位置にする。
- ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。
- ドラムロックは「掛り」とし、その他のスイッチは「切」または「中立」にする。
- エンジンを停止する。



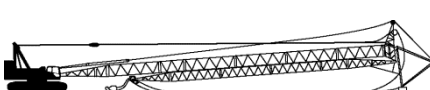
タワー	上限角 (*2)
ジブ	50°～60° (*2)
フック	過巻停止手前まで巻上げ
旋回ロック	入
機械の方向	カウンタウエイトが風上

(\*2)タワー角度およびジブ角度は、各機種の取扱説明書に記載の角度を参照してください。

**強風休業時**  
(風速が16m/秒を超え30m/秒以下)

タワーを地上に降下できる場合  
作業を中止して、次の処置をしてください。

- タワーにジブを連結装置で正しく固定する。
- フックを地上に降ろす。
- タワーを地上に降下させる。
- 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。
- すべての操作レバーを中立位置にする。
- ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。
- ドラムロックは「掛り」とし、その他のスイッチは「切」または「中立」にする。
- エンジンを停止する。

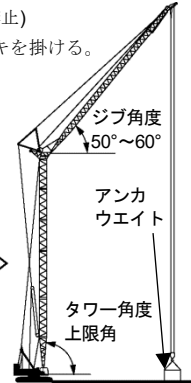


タワー	地上
ジブ	畳む
フック	地上
旋回ロック	入

**強風休業時の応急対策**  
(風速が16m/秒を超え30m/秒以下)

タワーを地上に降下できない場合  
作業を中止して、次の処置をしてください。

- カウンタウエイトを風上に向け、ブーム背面から風を受けるようにする。
- タワー角度を上限角にし、ジブ角度を50°～60°にする。
- アンカウエイトを玉掛けし、巻上げロープを張る。(\*1)
- アンカウエイトは「アンカウエイト表」を参考にして、事前に準備してください。
- 巻上げロープを張るときは、最小アンカウエイトの10%程度の荷重をかけて、巻上げロープの揺れによって、玉掛け用ワイヤロープが外れないように処置をしてください。(地切り禁止)
- 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。
- すべての操作レバーを中立位置にする。
- ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。
- ドラムロックは「掛り」とし、その他のスイッチは「切」または「中立」にする。
- エンジンを停止する。



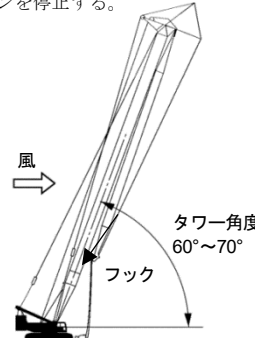
タワー	上限角 (*2)
ジブ	50°～60° (*2)
フック	アンカウエイトに接続
旋回ロック	入
機械の方向	カウンタウエイトが風上

(\*1)玉掛け用ワイヤロープは、アンカウエイトの質量に見合ったものを使用してください。  
(\*2)タワー角度およびジブ角度は、各機種の取扱説明書に記載の角度を参照してください。

**暴風休業時**  
(風速が30m/秒を超える場合)

台風などで風速が30m/秒を超えると予想される場合は、事前に次の処置をしてください。

- タワーにジブを連結装置で正しく固定する。
- フックを地上に降ろす。
- タワーを地上に降下させる。
- 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。
- すべての操作レバーを中立位置にする。
- ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。
- ドラムロックは「掛り」とし、その他のスイッチは「切」または「中立」にする。
- エンジンを停止する。



タワー	60°～70° (*2)
ジブ	畳む
フック	地上
旋回ロック	入
機械の方向	カウンタウエイトが風上

(\*2)タワー角度およびジブ角度は、各機種の取扱説明書に記載の角度を参照してください。

**アンカウエイト表**

タワー	地上
ジブ	畳む
フック	地上
旋回ロック	入

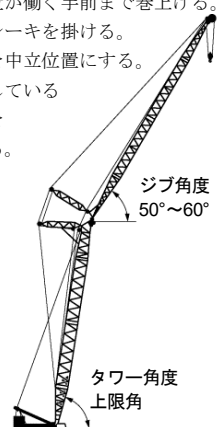
機種	アンカウエイト
50t 級	5t 以上
65t 級	7t 以上
80t 級	7t 以上
90t 級	7t 以上
100t 級	10t 以上
120t 級	10t 以上
150t 級	10t 以上
200t 級	10t 以上

6. 250t~800t 級タワー仕様の休業処置(6000SLX を除く)

**日常休業時**  
(風速10m/秒以下)

作業終了時、次の処置をしてください。

1. タワー角度を上限界にする。
2. ジブ角度を50°~60°にする。
3. フックを過巻防止装置が働く手前まで巻上げる。
4. 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。
5. すべての操作レバーを中立位置にする。
6. ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。
7. ドラムロックは「掛り」とし、その他のスイッチは「切」または「中立」にする。
8. エンジンを停止する。



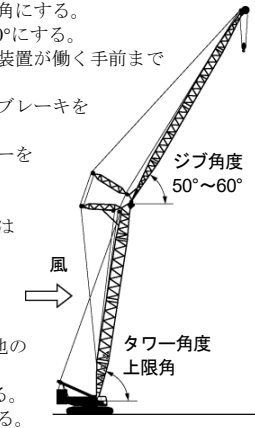
タワー	上限界 (*2)
ジブ	50°~60° (*2)
フック	過巻停止手前まで巻上げ
旋回ロック	入

(\*2)タワー角度およびジブ角度は、各種種の取扱説明書に記載の角度を参照してください。

**強風休業時**  
(風速が10m/秒を超え16m/秒以下)

作業を中止して、次の処置をしてください。

1. カウンタウエイトを風上に向け、ブーム背面から風を受けるようにする。
2. タワー角度を上限界にする。
3. ジブ角度を50°~60°にする。
4. フックを過巻防止装置が働く手前まで巻上げる。
5. 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。
6. すべての操作レバーを中立位置にする。
7. ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。
8. ドラムロックは「掛り」とし、その他のスイッチは「切」または「中立」にする。
9. エンジンを停止する。



タワー	上限界 (*2)
ジブ	50°~60° (*2)
フック	過巻停止手前まで巻上げ
旋回ロック	入
機械の方向	カウンタウエイトが風上


(\*2)タワー角度およびジブ角度は、各種種の取扱説明書に記載の角度を参照してください。

**強風休業時**  
(風速が16m/秒を超え30m/秒以下)

タワーを地上に降下できる場合  
作業を中止して、次の処置をしてください。

1. フックを地上に降ろす。
2. タワーブームを巻下げ、ジブ先端ローラを地面に接地させる。
3. タワーブーム先端高さが3m になるまでタワーブームを巻下げる。
4. タワーブーム先端下に架台を置き、タワーブームを預け、タワーを伏せた状態にする。
5. 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。
6. すべての操作レバーを中立位置にする。
7. ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。
8. ドラムロックは「掛り」とし、その他のスイッチは「切」または「中立」にする。
9. エンジンを停止する。

ワイヤロープを踏まないこと

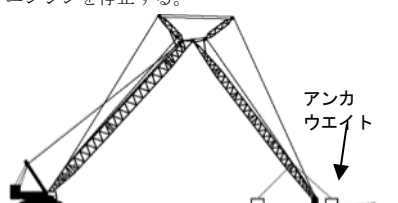


タワー	地上
ジブ	地上
フック	地上
旋回ロック	入
機械の方向	カウンタウエイトが風上

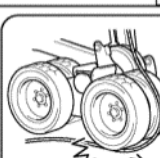
**強風休業時の応急対策**  
(風速が16m/秒を超え30m/秒以下)

ジブを地上に降下できる場合  
作業を中止して、次の処置をしてください。

1. フックを地上に降ろす。
2. タワーブームを巻下げ、ジブ先端ローラを地面に接地させる。
3. ワイヤロープをジブ先端ローラで踏まないように注意のこと。
4. アンカウエイトをジブ先端の前後に置き、ジブトップを固定する。(\*1)
5. アンカウエイトは「アンカウエイト表」を参考に、事前に準備しておいてください。
6. 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。
7. すべての操作レバーを中立位置にする。
8. ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。
9. ドラムロックは「掛り」とし、その他のスイッチは「切」または「中立」にする。
10. エンジンを停止する。



ワイヤロープを踏まないこと



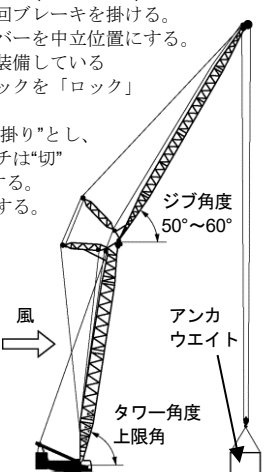
タワー	空中
ジブ	地上
フック	地上
旋回ロック	入

(\*1)玉掛け用ワイヤロープは、アンカウエイトの質量に見合ったものを使用してください。

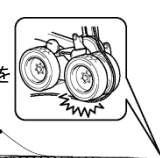
**強風休業時の応急対策**  
(風速が16m/秒を超え30m/秒以下)

ジブを地上に降下できない場合  
作業を中止して、次の処置をしてください。

1. カウンタウエイトを風上に向け、ブーム背面から風を受けるようにする。
2. タワー角度を上限界にする。
3. ジブ角度を50°~60°にする。
4. アンカウエイトを玉掛けし、巻上げロープを張る。(\*1)
5. アンカウエイトは「アンカウエイト表」を参考に、事前に準備しておいてください。
6. 巻上げロープを張るときに、最小アンカウエイトの10%程度の荷重をかけて、巻上げロープの挿れによって、玉掛け用ワイヤロープが外れないように処置をしてください。(地切り禁止)
7. 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。
8. すべての操作レバーを中立位置にする。
9. ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。
10. ドラムロックは「掛り」とし、その他のスイッチは「切」または「中立」にする。
11. エンジンを停止する。



ワイヤロープを踏まないこと



タワー	上限界 (*2)
ジブ	50°~60° (*2)
フック	アンカウエイトに接続
旋回ロック	入
機械の方向	カウンタウエイトが風上


(\*1)玉掛け用ワイヤロープは、アンカウエイトの質量に見合ったものを使用してください。  
(\*2)タワー角度およびジブ角度は、各種種の取扱説明書に記載の角度を参照してください。

**暴風休業時**  
(風速が30m/秒を超える場合)

台風などで風速が30m/秒を超えると予想される場合は、事前に次の処置をしてください。

1. フックを地上に降ろす。
2. タワーブームを巻下げ、ジブ先端ローラを地面に接地させる。
3. ワイヤロープをジブ先端ローラで踏まないように注意のこと。
4. タワーブーム先端高さが3m になるまでタワーブームを巻下げる。
5. ジブ先端ローラは浮かさないでください。
6. タワーブーム先端下に架台を置き、タワーブームを預け、タワーを伏せた状態にする。
7. 旋回ロック・旋回ブレーキを掛ける。
8. すべての操作レバーを中立位置にする。
9. ゲートロックを装備している機械はゲートロックを「ロック」位置にする。
10. ドラムロックは「掛り」とし、その他のスイッチは「切」または「中立」にする。
11. エンジンを停止する。

ワイヤロープを踏まないこと



タワー	地上
ジブ	地上
フック	地上
旋回ロック	入
機械の方向	カウンタウエイトが風上

**アンカウエイト表**

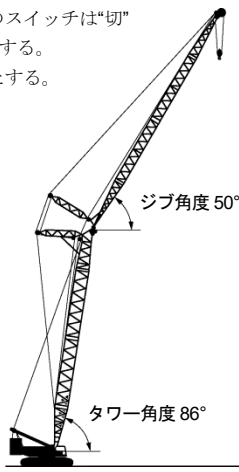
機種	アンカウエイト	
	タワー・ジブを地上に降下できる場合	タワー・ジブを地上に降下できない場合
250t 級	各6t 以上	15t 以上
350t 級	各6t 以上	15t 以上
500t 級	各6t 以上	17t 以上
650t 級	各6t 以上	17t 以上
800t 級	各6t 以上	24t 以上

7. 6000SLX タワー仕様の休業処置(1)

**日常休業時**  
(風速10m/秒以下)

作業終了時、次の処置をしてください。

1. タワー角度を上限角にする。
2. ジブ角度を50°にする。
3. フックを過巻防止装置が働く手前まで巻上げる。
4. 旋回ブレーキを掛ける。
5. すべての操作レバーを中立位置にする。
6. ゲートロックを「ロック」位置にする。
7. 機械操作関係のスイッチは“切”または“中立”にする。
8. エンジンを停止する。

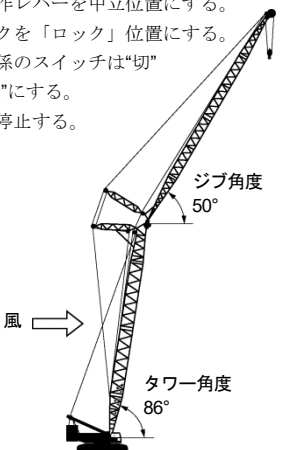


タワー	86°
ジブ	50°
フック	過巻停止手前まで巻上げ

**強風休業時**  
(風速が10m/秒を超え16m/秒以下)

作業を中止して、次の処置をしてください。

1. カウンタウエイトを風上に向け、ブーム背面から風を受けるようにする。
2. タワー角度を上限角にする。
3. ジブ角度を50°にする。
4. フックを過巻防止装置が働く手前まで巻上げる。
5. 旋回ブレーキを掛ける。
6. すべての操作レバーを中立位置にする。
7. ゲートロックを「ロック」位置にする。
8. 機械操作関係のスイッチは“切”または“中立”にする。
9. エンジンを停止する。

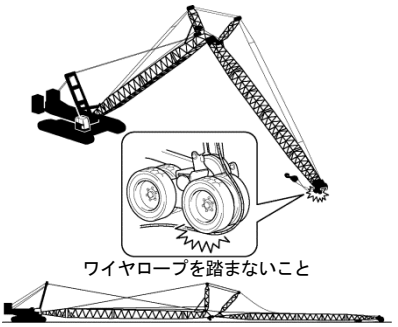


タワー	86°
ジブ	50°
フック	過巻停止手前まで巻上げ
機械の方向	カウンタウエイトが風上

**強風休業時**  
(風速が16m/秒を超え30m/秒以下)

タワーを地上に降下できる場合  
作業を中止して、次の処置をしてください。

1. フックを地上に降ろす。
2. タワーブームを巻下げ、ジブ先端ローラを地面に接地させる。
- ・ワイヤロープをジブ先端ローラで踏まないように注意のこと。
3. タワーブーム先端高さが3m になるまでタワーブームを巻下げる。
- ・ジブ先端ローラは浮かせないでください。
4. タワーブーム先端下に架台を置き、タワーブームを預け、タワーを伏せた状態にする。
5. 旋回ブレーキを掛ける。
6. すべての操作レバーを中立位置にする。
7. ゲートロックを「ロック」位置にする。
8. 機械操作関係のスイッチは“切”または“中立”にする。
9. エンジンを停止する。

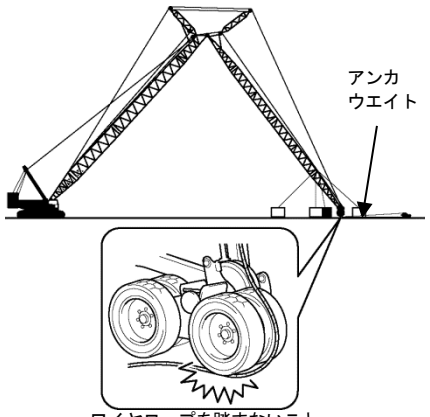


タワー	地上
ジブ	地上
フック	地上
機械の方向	カウンタウエイトが風上

**強風休業時の応急対策**  
(風速が16m/秒を超え30m/秒以下)

タワーを地上に降下できないが  
ジブを地上に降下できる場合  
作業を中止して、次の処置をしてください。

1. フックを地上に降ろす。
2. タワーブームを巻下げ、ジブ先端ローラを地面に接地させる。
- ・ワイヤロープをジブ先端ローラで踏まないように注意のこと。
3. アンカウエイトをジブ先端の前後左右に置き、ジブトップを固定する。(\*1)
- ・アンカウエイトは事前に準備しておいてください。
4. 旋回ブレーキを掛ける。
5. すべての操作レバーを中立位置にする。
6. ゲートロックを「ロック」位置にする。
7. 機械操作関係のスイッチは“切”または“中立”にする。
8. エンジンを停止する。



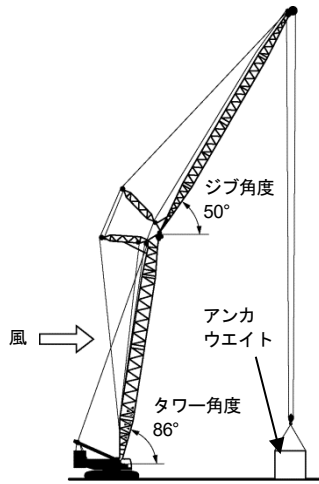
タワー	空中
ジブ	地上
フック	地上
アンカウエイト	各6t 以上

(\*1)玉掛け用ワイヤロープは、アンカウエイトの質量に見合ったものを使用してください。

6000SLX タワー仕様の休業処置(2)

強風休業時の応急対策

- ジブを地上に降下できない場合  
作業を中止して、次の処置をしてください。
1. カウンタウエイトを風上に向け、ブーム背面から風を受けるようにする。
  2. タワー角度を上限角にする。
  3. ジブ角度を50°にする。
  4. アンカウエイトを玉掛けし、巻上げロープを張る。(\*1)
- ・アンカウエイトは事前に準備しておいてください。
  - ・巻上げロープを張るときに、最小アンカウエイトの10%程度の荷重をかけて、巻上げロープの揺れによって、玉掛け用ワイヤロープが外れないように処置をしてください。(地切り禁止)
5. 旋回ブレーキを掛ける。
  6. すべての操作レバーを中立位置にする。
  7. ゲートロックを「ロック」位置にする。
  8. 機械操作関係のスイッチは「切」または「中立」にする。
  9. エンジンを停止する。



タワー	86°
ジブ	50°
フック	アンカウエイトに接続
機械の方向	カウンタウエイトが風上
アンカウエイト	17t以上

(\*1)玉掛け用ワイヤロープは、アンカウエイトの質量に見合ったものを使用してください。

ジブを地上に降下できず、アンカウエイトによる対策をとる場合、適用できる風速は仕様・ブーム長さ毎に異なりますので、下表を参考にしてください。

それ以上の風速が予想される場合は、「暴風休業時」の処置をしてください。

- ：風速が16m/秒を超え30m/秒以下
- ：風速が16m/秒を超え25m/秒以下
- ：風速が16m/秒を超え20m/秒以下

標準(タワー)、SL-N(タワー)仕様時

		ジブ長さ (m)									
		24	30	36	42	48	54	60	66	72	
タワー長さ (m)	24	○	○	○	○	○	○	○	●	●	□
	30	○	○	○	○	○	○	○	●	●	□
	36	○	○	○	○	○	○	○	●	●	□
	42	○	○	○	○	○	○	○	●	●	□
	48	○	○	○	○	○	○	○	●	●	□
	54	○	○	○	○	○	○	○	●	●	□
	60	○	○	○	○	○	○	○	●	●	□
	66	○	○	○	○	○	○	○	●	●	□
72	○	○	○	○	○	○	○	●	●	□	

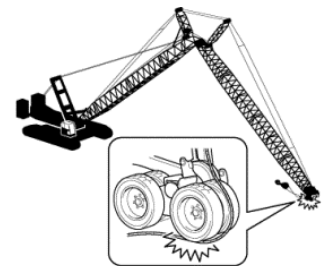
SL-B(タワー)、SL-T(タワー)仕様時

		ジブ長さ (m)																						
		24	30	36	42	48	54	60	66	72	78	84												
タワー長さ (m)	36	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	42	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	48	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	54	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	66	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	72	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	78	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	84	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

暴風休業時  
(風速が30m/秒を超える場合)

台風などで風速が30m/秒を超えると予想される場合は、事前に次の処置をしてください。

1. フックを地上に降ろす。
  2. タワーブームを巻下げ、ジブ先端ローラを地面に接地させる。
- ・ワイヤロープをジブ先端ローラで踏まないように注意のこと。
3. タワーブーム先端高さが3m になるまでタワーブームを巻下げる。
  - ・ジブ先端ローラは浮かせないでください。
  4. タワーブーム先端下に架台を置き、タワーブームを預け、タワーを伏せた状態にする。
  5. 旋回ブレーキを掛ける。
  6. すべての操作レバーを中立位置にする。
  7. ゲートロックを「ロック」位置にする。
  8. 機械操作関係のスイッチは「切」または「中立」にする。
  9. エンジンを停止する。



ワイヤロープを踏まないこと

タワー	地上
ジブ	地上
フック	地上
機械の方向	カウンタウエイトが風上

8. 風がおさまった後の処置

運転前に機械各部を点検し、異常のないことを確認してください。万一、異常がある場合は整備してください。

ご不明な点がございましたら、最寄りの“サービス工場”または“サービスセンタ”にご相談ください。

●ご用命は右記のサービス拠点へ  
住友重機械建機クレーン株式会社